

きゅうしゅう

NO.49



写真：F-2戦闘機
(提供：航空自衛隊築城基地基地渉外室)

目次 CONTENTS

1. 部隊紹介：航空自衛隊 築城基地
2. 自治体紹介：福岡県行橋市
3. 業務紹介：佐世保防衛事務所
4. インフォメーション：防衛問題セミナー(奄美市)
感謝状贈呈
築城基地航空祭で広報活動



1. 部隊紹介

航空自衛隊 築城基地



第8航空団司令兼 築城基地司令
空将補 大嶋 善勝

九州防衛局広報誌「きゅうしゅう」をご覧の皆様、第8航空団司令兼ねて築城基地司令の大嶋です。

築城基地は、福岡県東部に位置し行橋市、築上町、みやこ町に所在しております。我々が担任する地域は、東は中国・四国地方の西半分から南は南西諸島付近までをカバーし、西日本の防空の要の一つとなっております。

築城基地には第8航空団、第7高射隊、西空施設隊第3作業隊、築城管制隊、築城気象隊、築城地方警務隊等が所在し、対領空侵犯措置任務をはじめ、各種事態等に対応するため、即応態勢を維持しつつ日夜訓練に励んでおります。

近年の我が国を取り巻く安全保障環境は、日々厳しさを増しております。第8航空団の対領空侵犯措置の回数も増加傾向にあるほか、周辺国においては度重なる弾道ミサイル発射や核実験を行う等、これまで以上の警戒心を持たなければなりません。また、近年は前例のない予測の極めて困難な自然災害も増加しているように感じます。これらに適切に

対応するため、築城基地の全隊員が一致団結し更なる能力の向上に努めてまいります。

築城基地は、自治体のお祭り等各種行事に参加させていただいたり、航空祭においては先の1市2町を含め周辺自治体から、PRブースを基地内に出していただく等、良好な関係を築いていただいております。これも国民の皆様のおかげで支援の賜物と大変感謝しております。私たち隊員一同、皆様の安心・安全に寄与するため、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



花の航空団

1 空の男さ ばら色雲に
惚れた仲間さ あいつも俺も
銀のつばさに 若さを乗せりや
富士の山さえ ひとまたぎ
いかすぞ 花の航空団

2 やってくれるか まかせておけよ
あとはいらない 聞かずにわかる
こんな俺にも 苦手はあるさ
可愛いあの娘(こ)の あの涙
粹(いき)だよ 花の航空団

3 海に突き出た 不沈の空母
汗で磨こう 希望で飾ろ
雨も嵐も 来るならおいで
日頃きたえた 腕試し
意気だよ 第八航空団

作詞 横山 賢一
作曲 中郡 利彦

「花の航空団」のいわれ
この歌は、昭和40年代に基地園芸部が栽培した菊やツツジ、バラ等が、基地内に四季を通じて花が咲き乱れていた。その様子を見た航空新聞社の副編集長の横山氏が「花の航空団だ」と感じ、日々厳しい訓練に明け暮れる、隊員の花を受する美しい心に感激し、その気持ちを歌詞に込め、同社の中郡氏が作曲、「花の航空団」のタイトルで第8航空団に寄贈された。



地域の皆様、国民の皆様とともに



令和元年5月4日
神幸祭



令和元年7月7日
つばさ少年剣道大会



令和元年8月7日~8日
青少年防衛講座



令和元年10月5日
CH-47J体験搭乗



令和元年10月9日
令和元年度築城基地追悼式



令和元年8月31日
行橋市夏祭り「こすもっぺ」



令和元年12月8日
令和元年度築城基地航空祭
約6万人の来場者で埋め尽くされました



令和元年10月12日
豊前の国 観月 城あかり



令和元年12月14日
令和元年度
つばさふれあいコンサート

2. 自治体紹介

市長あいさつ

行橋市は、北九州市と大分県中津市のほぼ中間地点に位置し、福岡県北東部の人口約7万3千人の市です。

古くより先進の大陸文化を取り入れ、瀬戸内海を通じ、畿内との交流も盛んに行われていました。

この地域は、「京都平野」と呼ばれ、早くから開けた地域として重要な役割を果たし、市内には今も数々の史跡が残されています。

駅の西側にはマンションや大型ショッピングセンターが多く建設され、市の南西部には水田地帯が広がり近郊型農業が行われています。また周防灘にも面した海岸部では、漁業も盛んで、特に牡蠣は有名です。そのほかにも、ビーチサッカーやハーフマラソンなどのスポーツイベントが開催され、県内外からの来場者で大変賑わっています。

近年では、北九州空港の開港や東九州自動車道の開通で利便性が高まり、住環境も整う行橋市は大都市からの移住先としてもお勧めです。

海・山・川の豊かな自然、新鮮で美味しい食材、楽しいイベント、四季折々の魅力がいっぱいな行橋市へ是非お越しください。



基地との関わり

本市には、航空自衛隊築城基地が所在しております。築城基地の大きな役割は、日本の防空を担当すると共にわが国の領空を不法に侵犯しようとする国籍不明機の排除を主任務としており、西空での重要な役割を果たしています。

また、防空の任務の他にも、民間空港である北九州空港と山口宇部空港の管制業務の大半を担うなど様々な活動をされています。

市民との関わりにおいては、航空祭やふれあいコンサートなどの魅力的な基地行事や、市の夏まつり「こすもっぺ」へも神輿の担ぎ手として多くの隊員の方が参加されるなど、様々な場面で交流を深めています。

本市としても、安心して安心なまちづくりのため、より深い信頼関係を築きながら、お互いに連携していきたいと考えております。

行橋市長 田中 純



ふるさと応援
寄付サイト



行橋市役所
ホームページ



観光ポータルサイト
ゆくゆくゆくはし



ゆ
く
は
し

Please come and enjoy!

3. 業務紹介

佐世保防衛事務所の業務紹介



▲所在地：長崎県佐世保市木場田町2-19 佐世保合同庁舎6F

佐世保防衛事務所は、九州防衛局の出先機関として、長崎県佐世保市木場田町の佐世保合同庁舎において、長崎県（対馬市及び吉崎市を除く。）を管轄区域とし、米軍・自衛隊・地方自治体・関係団体及びその他の関係者との連絡、交渉、業務に関する調査及び資料の収集等並びに駐留軍等従業員の方務管理に関する事務を行っています。

◎ 業務課

事務所の運営が円滑に遂行できるよう、総合調整業務を実施しています。そのほか、米軍による事件事故について、初動対応や被害者の損害賠償請求に係る資料の収集、建設工事における施設発生物品の検収等を実施しています。また、米軍及び地方自治体等と防犯連絡会議を実施し、事案発生時の連携の強化に努めています。



車両事故における損害状況の確認▲



▲令和元年12月6日、米海軍佐世保基地に配備された強襲揚陸艦アメリカ（LHA-6）

◎ 施設課

自衛隊及び米軍が使用する施設の建設工事や漁業補償、地方自治体への補助金等に係る関係機関との連絡及び交渉、調査並びに資料の収集業務を実施しています。また、近年では米海軍のLCACによる夜間訓練や新たに配備される艦船の入港状況等を確認し、現地の動向を九州防衛局へ随時報告するよう努めています。

◎ 労務

米海軍佐世保基地に勤務する駐留軍等労働者の雇用主として、労働契約の締結、給与の支払等の労務管理事務、永年勤続者表彰式の実施等の福利厚生事務を行うとともに、労働者の募集、給与計算、社会保険手続きなどの事務を独立行政法人駐留軍等労働者労務管理機構佐世保支部と連携して実施しています。



令和元年10月29日、駐留軍従業員永年勤続者表彰式を実施（於：米海軍佐世保基地）▲

4. インフォメーション

第39回防衛問題セミナーの開催（鹿児島県奄美市）

令和元年11月17日（日）、鹿児島県奄美市の奄美観光ホテルにおいて、九州防衛局は「島嶼防衛を考える～新編 奄美警備隊の役割～」をテーマに【第39回防衛問題セミナー】を開催しました。

（来場者約130名）

まず、廣瀬律子九州防衛局長による主催者挨拶に始まり、2部構成の講演が行われました。

講演の第1部は、「島を守ることは・・・」と題して、日本大学危機管理学部教授の勝股秀通氏が、ご自身の記者時代のエピソードを織り交ぜながら南西地域の自衛隊配備の意義について講演しました。勝股教授は中国の軍事力の現状や南シナ海、東シナ海での動きを踏まえた上で、有事発生の予見・回避の重要性を説き、防衛の空白地域となっている南西諸島方面への自衛隊配備は、我が国の平和と安全を維持する上で大きな抑止力になることを分かりやすく解説しました。

第2部は、「奄美大島に所在する陸上自衛隊の概要」と題して、陸上自衛隊奄美警備隊長の平田浩二1佐が、平成31年3月に開設された奄美駐屯地等の概要について講演しました。平田1佐は昨今の我が国を取り巻く厳しい安全保障環境や自衛隊の災害派遣活動の重要性の高まりに触れつつ、奄美駐屯地等の開設の意義や活動状況について詳しく説明しました。

最後に、共催者を代表して朝山毅奄美市長からご挨拶を頂き、セミナーは終演しました。

セミナーに集まっていた約130名の地域住民の皆様は、安全保障に高い関心を持って真剣なまなざしで講演に聞き入っていました。

九州防衛局では、今後も防衛省の諸施策や自衛隊の活動についてより多くの方々に理解していただくため、九州各地で【防衛問題セミナー】を開催してまいりますので是非ご参加下さい。



▲会場の様子



▲廣瀬九州防衛局長による主催者挨拶



▲講演する勝股教授



▲講演する平田1佐



▲朝山奄美市長による共催者挨拶

感謝状贈呈 ～鹿児島県奄美市長、瀬戸内町長～

令和元年11月18日(月)、鹿児島県奄美市役所において朝山毅市長に対して、また、同県瀬戸内町役場において鎌田愛人町長への感謝状を奥田耕三副町長に対して、それぞれ廣瀬律子九州防衛局長から感謝状を贈呈致しました。

朝山奄美市長は、陸上自衛隊奄美駐屯地の開設(平成31年3月)にあたり、国防の重要性を深く理解される一方、地元の不安や懸念等を解消すべく、当局と調整を行いながら住民説明会を開催するなど、住民の方々の安心・安全の確保等に尽力されました。

鎌田瀬戸内町長は、陸上自衛隊瀬戸内分屯地の開設(平成31年3月)にあたり、国防の重要性を深く理解される一方、分屯地用地取得に協力されるとともに、住民説明会を随時実施するなど、住民の方々の安心・安全の確保等に尽力されました。

今回の感謝状は、両首長のこれまでの努力や御功績に対し、当局の深い感謝の意を表するものです。



▲朝山奄美市長(左)と廣瀬九州防衛局長



▲奥田瀬戸内町副町長(右)と廣瀬九州防衛局長

「令和元年度築城基地航空祭」で広報活動を実施

令和元年12月8日(日)、航空自衛隊築城基地(福岡県築上郡築上町)において航空祭が開催されました。敷地内には、F-2戦闘機、ブルーインパルス、救難機US-2などの自衛隊機が展示され、来場した約6万人(主催者発表)の航空機ファンや家族連れで賑わう中、九州防衛局はブースを設置して広報活動を行いました。

ブースでは、防衛白書クイズ、航空機等のペーパークラフトの展示・配布、自衛隊災害派遣等のパネル展示などを行ったほか、「まんがで読む防衛白書」、九州防衛局の広報誌「きゅうしゅう」や各種パンフレットの配布を行いました。ブースには多くの方々にお立ち寄り頂き、高い関心を集めました。

特に、防衛白書クイズのコーナーでは、正解すると空自機等の装備品がプリントされた缶バッジがもらえるとして、多くの子供達がチャレンジしました。更に、ブルーインパルスのパイロットの全身をかたどった顔出しパネルでは、家族連れなど多くの方々が見物を楽しんでいました。

九州防衛局は、今後とも防衛省の諸施策や自衛隊の活動についてより多くの方々にご理解頂けるよう分かりやすい広報に努めてまいります。自衛隊の各種イベントにて皆様のお立ち寄りをお待ちしています。



▲多くの方々にご来場頂きました



▲ブルーインパルスのタペストリーで記念写真



▲写真コーナーも人気でした

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

・平日は17時15分から翌朝8時30分まで、
休日は終日。